

社協 ささやま

6

2010年 第66号



地域でつくる 子育ての輪

目次

- 2・3 平成22年度 組織体制・事業計画
- 4 NEWS福祉
- 5 ファミリーサポートセンター
こんにちは、ヘルパーです!
- 6 Vポラナビ〜ボランティアナビゲーション〜
- 7 情報ボックス
- 8 善意銀行だより
心配ごと相談日
あとがき

ファミリーサポートセンターでは、地域の子育ての輪が広がるように会員交流会を定期的に行っています。

この日は、「春一番 ファミサポ コンサート」と題して、音楽家の西田夫佐さんより、弾き語りライブを披露していただき、楽しいひとときを過ごしました。

(四季の森生涯学習センター)

平成22年度 篠山市社会福祉協議会 組織体制

事務局長

総務課長

理事会 理事 15名（内 会長1名、副会長3名）
 監事会 監事 3名
 評議員会 評議員 40名
 職員数 79名（正規職員15名、嘱託職員25名、臨時職員38名、市出向職員1名）

総務課

- 適切な法人運営や事業運営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整などを行う部門
- ボランティア活動や福祉団体の運営を総合的に支援する部門
- ファミリーサポートセンター受託事業の運営を行う部門
- 外出支援サービス受託事業の運営を行う部門

地域福祉課

- 地域住民や地域のあらゆる団体・組織と協働して地域の福祉課題を把握し、その解決にむけた地域福祉の取り組みを計画的、総合的に推進する部門
- 福祉サービス利用等のサービス利用の援助や地域での生活支援に向けた相談・支援活動、情報提供・連絡調整を行う部門

西部地域支援センター

- 包括的かつ継続的なサービス体制を構築し、福祉サービスを総合的に提供する部門（市受託事業）

居宅介護支援事業所

訪問介護事業所

平成22年度 篠山市社会福祉協議会 事業計画

3月29日、第24回評議員会を開催し、事業計画及び法人運営事業会計を含めた20の社会福祉事業会計予算、公益事業特別会計予算、収益事業特別会計予算が原案のとおり可決されました。

昨今の経済情勢の中で、地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会の役割は極めて重要であり、各関係機関と連携を図り、多様な福祉ニーズに応じた地域福祉事業に取り組みます。



市内8自治会を指定し、地域住民がふれあう交流の場づくりとして、「ふれあい・いきいきサロン事業」を開催します。

集落等福祉活動事業

ボランティア活動に必要な情報の収集と発信、ボランティア登録や派遣調整を行います。

事業

ボランティア活動に必要な情報の収集と発信、ボランティア登録や派遣調整を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティア活動支援事業

(1) 学習機会

高齢者や障がい者、子育て支援の各分野におけるボランティア養成講座を開催し、新たなボランティア層の発掘とボランティア活動の促進をめざします。

(2) 交流ネットワーク事業

単一のボランティアグループの支えだけでなく、グループ間における交流、連携を促進し、ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

ボランティアの育成を行います。

給食サービス事業

ボランティア、民生委員児童委員等の協力を得て、一人暮らし高齢者等を対象に、給食サービスを実施します。

配食サービス受託事業

市内の障がい者福祉事業所に調理と配送業務を委託し、一人暮らし高齢者等を対象に、配食サービス事業を実施します。

外出支援サービス受託事業

身体状況により一般公共交通機関の利用が困難な障がい者等の通院手段を確保するため、市内全域を対象とした外出支援サービス事業を実施します。

生活福祉資金貸付事業 福島基金貸付事業

低所得世帯等を対象に、在宅福祉の充実と社会参加の促進を図るため、生活福祉資金や福島基金の貸し付けを行います。

福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な高齢者等が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、住民や関係機関と連携し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、通帳の預かりサービスを行います。

介護機器用品貸出事業

在宅介護を必要とする人を対象に、在宅生活の維持、自立を促すことを目的に車いすや電動ベッド等の介護機器の貸し出しを行います。

手話・点訳奉仕員養成受託事業

聴覚障がいへの理解を深め、日常生活程度の手話表現技術を習得し、聴覚障がい者との交流を深めるため、手話奉仕員を養成します。

また、基礎的な点訳の知識と技術を学び、視覚障がい者のニーズに沿った多くの情報を提供していくため、点訳奉仕員を養成します。



ファミリーサポートセンター受託事業

育児の援助を受けたい人（依頼会員）、援助を行いたい人（依頼会員）の援助を行います。

力会員）、双方を行う人（両方会員）を組織化し、相互援助活動を行うことにより、仕事と育児が両立できる環境を整えます。

共同募金配分金事業

(1) 友愛訪問活動事業

民生委員児童委員の協力を得て、一人暮らし高齢者を対象に、利用者の誕生日にプレゼントを手渡しし、友愛訪問事業を実施します。

(2) すこやか会のつどい事業

一人暮らし高齢者等を対象に、孤立感の解消や仲間づくりを目的に福祉委員やボランティアの協力を得て、つどいを開催します。



(3) 福祉委員活動事業

福祉委員が福祉ニーズを発見する「アンテナ役」として、また地域と社協を結ぶ「パイプ役」として、関係機関と連携して福祉ニーズの早期発見と解決に努めます。

また、福祉委員連絡会を地域福祉推進のための基礎組織として位置づけ、地区福祉委員活動の活性化を図ります。

(4) 福祉教育推進事業

地域の福祉課題に住民自らが気づく学びと、実践の場を提供するため、各関係機関と連携し、車いすやアイマスク、点字講座等の福祉体験教室を開催します。

(5) 心配ごと相談所事業

地域の身近な「よろず相談所」として市内6カ所に窓口を設け、民生委員児童委員の協力を得て、日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言や援助を行います。

(6) 広報・調査研究活動

① 広報の発行
全世帯に年6回発行し、会費納入時には、社協活動パンフレットを配布し、社協活動のPRに努めます。

② 調査研究活動

地域の社会資源（人的・物的要素）とその状況を調査、研究し、公共性の高い福祉活動に結びつけられるよう企画を行います。

(7) 社会福祉大会

本大会を、社会福祉の原点を見つめ直す機会としてとらえ、広く住民に参加を呼びかけ、福祉への理解と促進を図ります。

(8) 福祉団体支援事業

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、婦人共励会、手をつなぐ育成会、傷痍軍人会の事務局として、当事者組織の育成を図ります。

善意銀行運営事業

広く人々の善意の預託を受け、これを効果的に社会に還元し、社会福祉の増進を図ります。

西部地域支援センター受託事業

本年度から篠山市の委託により、社会福祉協議会が西部地域支援センターを担い、高齢者が住み慣れた地域で生きいきとした生活が送れるよう、社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャー、介護支援専門員の専門職を配置し、多様な福祉ニーズに総合的に対応し、必要な福祉サービスを包括的・継続的に提供します。

居宅介護支援事業（ケアプラン）

利用者が可能な限り自宅において、自己の能力に応じて自立した日常生活を送ることができるよう、利用者と家族の意見を反映した居宅（介護予防）サービス計画の作成を行います。

訪問介護事業

利用者が可能な限り自宅において、自らの有する能力に応じて自立した日常生活を送ることができるようホームヘルパーを派遣し、身体介護や生活支援のサービスを行います。



生きがい対応型デイサービスセンター受託事業

後川地区、大芋地区において閉じこもりがちな高齢者等を対象に、地元住民の協力を得て、生きがい対応型デイサービスを実施します。また、本年度より新たに高齢化率の高い地域や一人暮らし高齢者の多い地域を選定し、事業を実施します。



喫茶ふれあい収益事業

丹南健康福祉センターを利用する方の憩いの場として、円滑な運営に努め、収益事業として継続的に採算が維持できるよう、安定した経営に努めます。

共同募金運動

「地域の福祉、みんなで参加」を全国統一スローガンとして、10月を募金推進強化月間とし、自治会長等の協力を得て、募金

活動を実施します。

また、寄せられた募金は、兵庫県共同募金会を通じ、地域福祉活動や福祉施設の充実のために配分を行います。



歳末たすけあい運動

支援を必要とする方が、地域で安心して暮らすことができるように、12月を歳末たすけあい運動月間とし、自治会長等の協力を得て募金活動を実施します。

福祉サービスに関する苦情解決事業

社会福祉協議会が実施する福祉サービスの苦情に対し、公正・中立的な立場で適切な助言を行う第三者委員（社会福祉事業について知識経験を有する者3名）を配置し、苦情解決に努めます。

ふれあい・いきいきサロン交流会

～ふれあい・いきいきサロン波賀野・代表 宮本芙美子氏より～

3月30日、篠山市民センターにおいて、ふれあい・いきいきサロン（以下「サロン」という。）の普及と活性化を図ることを目的に、交流会を開催しました。

当日は、市内でサロンを運営する自治会やボランティアグループより50名が参加し、事例発表やレクリエーションの実演、情報交換を行いました。

社協職員による事業説明の後、本年度よりサロン事業に取り組まれた波賀野自治会の宮本芙美子代表より事例発表が行われました。発表では、いつもサロン活動で心掛けていることとして、「案内パンフレット等に写真を沢山盛り込み、サロンの雰囲気参加者に伝わるようにしている」



波賀野サロン・代表＝宮本芙美子氏による事例発表



サロン活動について情報交換を行いました

「他世代の交流を大切にし、どの世代も集えるような内容を工夫している」と述べられ、「住民全員で参画すること」に重点をおいた取り組みに、参加者は耳を傾けていました。

その後の意見交換では、各サロンの実施状況や好評だったレクリエーション活動について話し合いました。今、地域における社会資源として、サロン活動が注目されています。地域の身近な場所ですalonを開催することにより、気軽に・無理なく・誰でも集うことができ、その結果、地域において交流が生まれ、住民同士が支え合う基盤の一つとなっています。

今後も社協は、サロン活動の支援を通じて、地域福祉の増進を図ります。

シャクナゲと鯉のぼり

～しつかわデイサービス～

しつかわデイサービスは、毎月1回、後川文化センターにおいて、生きがいづくりと介護予防の場として、後川地区「ふるさとを守る会」のみなさんを中心に、民生委員児童委員、ボランティアの協力を得て実施しています。

5月は、「地域を離れることの少ない利用者にも外出の機会を」と、館外事業として西紀地区、本郷にある松隣寺（シャクナゲ寺）へ出かけました。

当日は晴天に恵まれ、絶好の外出日和となり、車窓から見える山ぎわに咲くシャクナゲは満開で、太陽の光に照らされ白く輝いていました。バスを降り、まず松隣寺代表総代・畠中清光氏にお寺の紹介をいただき、寺門の説明に、利用者は「古くて立派な門や。良いものはきちんと保存されてるんやなあ」としきりに感心



畠中氏（写真右）によるお寺の紹介



栄養満点、色とりどりのお弁当をみなさんと

しておられました。

その後の昼食では、木の芽をあしらった筍ごはんや色とりどりのおかず、舌鼓を打ちました。利用者からは「本当に綺麗で美味しいお弁当や。みんなと話しながら食べるごはんは最高やわ」との感想をいただきました。

午後からは境内を散策しながら、寺から望む新緑鮮やかな初夏の景色を満喫し、帰路につきました。

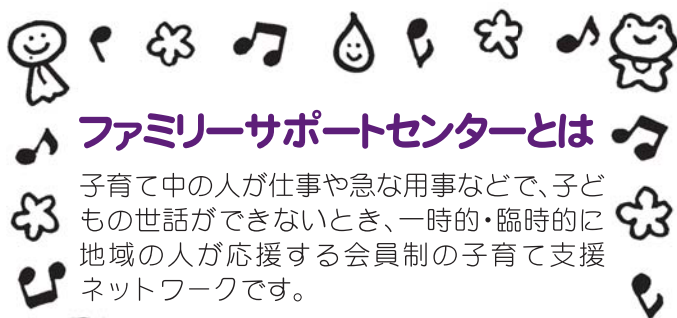
帰りのバスから見えるたくさんさんの鯉のぼりに、車内からは感動の声があがっていました。

今後もしつかわデイサービスは、地域住民の支援と協力を得て、高齢者の自立した生活に向けた介護予防の拠点としての役割と、福祉コミュニティの構築をめざし、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

ファミリーサポートセンター

問い合わせ先 ☎590-1388

篠山市ファミリーサポートセンター 担当 林 直美・本田明美



ファミリーサポートセンターとは

子育て中の人仕事や急な用事などで、子どもの世話ができないとき、一時的・臨時的に地域の人に応援する会員制の子育て支援ネットワークです。



会員募集中!

現在の会員数 249名 (平成22年3月末現在)



依頼会員

子どもを預かってほしい方
136名

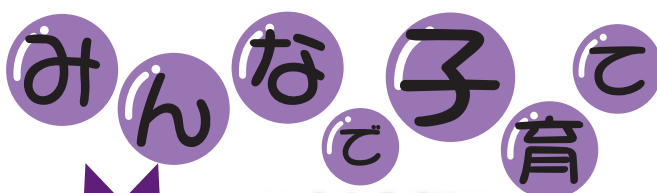
両方会員

どちらも兼ねる方
56名



協力会員

子どもを預かっていただく方
57名



平成21年度
ベスト3

こんなときに
ファミサポは
利用されました!

- 第1位 保育園・幼稚園などの保育開始前や保育終了後の子どもの預かり
- 第2位 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり
- 第3位 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助
- その他 保護者等の病気、その他急用の場合の援助
子どもの習い事などの場合の援助
保育園・学校など休み時の援助 など



保護者が急用の場合の預かり



幼稚園終了後の送迎



産後のお母さんのお手伝い

こんにちは、ヘルパーです!

問い合わせ先 ☎590-1880

篠山市社会福祉協議会 訪問介護事業所

この度、西紀デイサービスセンターから訪問介護事業所へ異動となり、ヘルパーとしてお世話になっております。まだまだ不安いっぱいの日々ですが、自分を励ましなが「こんにちは、ヘルパーの田中です」と大きな声で挨拶して訪問させていただき、一つひとつの出会いを大切にしながら業務を行っています。

私がデイサービス職員であった時に、デイサービスを利用されていたAさん宅へ初めてヘルパーとして訪問した時、「まあ、久しぶりやなあ。あんたが来てくれて嬉しいわ。私なあ、今みたいにできるだけ自分の家で暮らしていきたいんや」と私の手を強く握りしめながら在宅生活についての思いを聞かせていただき、改めてヘルパー業務について、やりがいと責任を感じました。

ご自宅におられる時のAさんは、デイサービス利用時のよそ行きの姿とは一味違って、エプロン姿が良く似合い、長年家を守り抜いてこられた風格さえ感じられます。人生経験豊かな利用者さん一人ひと

りに寄り添い、笑顔に出会えた時は、「この仕事を選んで良かった」と感じる瞬間のひとつです。

ヘルパー業務は、チーム意識を持って利用者さんを支援していくことが大切です。職員間で連携を保ちながら適切に業務をこなされている先輩ヘルパーの皆さんと一緒に、地域の方々に支えていただきながら頑張っていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

田中智子



夕食を一緒に作ります

点字教室が始まりました! ~丹南点訳アイ・愛サークル~

4月14日(水)、新規会員の募集・養成を目的に、『点字教室』が全10回コースで始まりました。

6名の参加申し込みがあり、初回のこの日は全員出席されていました。

参加者のなかには、「全くの初心者の私にできるのかなあ…」と不安に思われていた方もありましたが、「一緒にスタートする仲間がたくさんいるので、がんばります!」と話されていました。

講師を務める丹南点訳アイ・愛サークル代表の酒造忠夫さんは、「点字に興味を持っている方が多くてとてもうれしい。今後、点訳活動を長く続けてもらえるようサポートしていきたい」と話されていました。

今後参加者のみなさんは、点字教室で点訳の基礎を学び、点字教室終了後は、丹南点訳アイ・愛サークル会員のみなさんが現在行っている広報紙などの点訳活動を一緒にされるそうです。みなさんの今後の活躍に期待します。



教室のひとコマ



楽しいレクリエーションで心も身体も元気に

レクリエーションボランティア講座を開催します!

いきいきサロンなどのボランティア活動をしているみなさん、「どんなメニューがよいか」「どんなレクリエーションをしよう…」と悩んでいませんか?

この講座は、いつでも、どこでも、誰とでも、年齢を問わずに楽しく参加できる様々なレクリエーションについて、楽しく学ぶ講座です。

いきいきサロンやボランティア活動で活かせるメニューが盛りだくさんです! みなさんのご参加をお待ちしています。

日 時	① 6月30日(水)	} 13:30~15:30
	② 7月7日(水)	
	③ 7月14日(水)	
	④ 7月21日(水)	

場 所 丹南健康福祉センター 研修室

受 講 料 無料

締め切り 6月21日(月)



昨年度の講座の様子

「ボランティアがしたい」「何か活動を紹介して欲しい」など、ボランティアに関するご相談は、ボランティアセンターまでいつでもお気軽にお越しください。

ボランティアコーディネーターがお待ちしております!

第11回 篠山市社会福祉大会

と き 平成22年7月3日(土)

午後1時30分から

ところ 四季の森生涯学習センター
多目的ホール

内 容 式典と記念講演

講 演 「在宅ホスピス

～それは「ありがとう」と

「さようなら」がひとつになるところ～」

在宅ホスピス医 内藤 いづみ 氏

〈問い合わせ〉 篠山市社会福祉協議会 TEL590-1112



新入職員紹介



総務課長 橋元 工 (はしもと たくみ)

このたび、篠山市と篠山市社会福祉協議会との間で、人事交流が行われ、市より社会福祉協議会へ派遣となりました。

まだまだ、業務内容の把握に追われていますが、特色ある社会福祉協議会づくりを目指し、職務を遂行したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



主事 植村 尚史 (うえむら なおふみ)

地域住民のみなさまに接する機会が多く、やりがいを感じながら仕事をしています。反面、大きな責任も感じています。早く一人前の職員となって、みなさまの暮らしのお役に立てるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。



主事 明山加奈恵 (あけやま かなえ)

初めて経験することばかりで、まだまだ分からないことも多く、地域の方々や先輩方の指導の下勉強する毎日です。これから住民のみなさんが、住みやすい福祉の充実したまちづくりに努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ファミリーサポートアドバイザー
本田 明美 (ほんだ あけみ)

新規採用 西部地域支援センター職員紹介



所長 川崎 昌代 (かわさき まさよ)

4月1日から篠山市西部地域支援センターでお世話になっております。6名のスタッフで地域に根差した、支援センターを目指して頑張りますので、ご支援ご指導をいただきますようお願い申し上げます。



保健師 河村 優子 (かわむら ゆうこ)

初めてのことで、先輩や地域の方々に教えていただく毎日です。地域に足を運び、住民の方との交流を大切にしながら、住み慣れた地域での生活の支援ができるよう、努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



介護支援専門員
谷川由美子 (たにがわ ゆみこ)

篠山市ファミリーサポートセンター

第2回 交流会(全会員対象)

「ファミリーうんどうかい」

～のりものだいすき しゅっぱーつ しんこう!～

と き 6月26日(土) 10:00～12:00 (受付9:30～)

ところ 篠山市立川代体育館 (篠山市大山下)

指 導 榎本 英樹さん

(NPO法人「生涯学習サポート兵庫」)

定 員 20組

持ち物 上靴、ビニール袋(靴入れ)、お茶、タオル

締め切り 6月18日(金)

*安全上、0歳児のみの家族の参加はできませんので、ご了承ください

*子育てふれあいセンターとの合同開催になります

第3回 交流会(協力・両方会員対象)

「ヨガを体験してみよう!」

と き 7月8日(木) 10:00～11:30

ところ 四季の森生涯学習センター東館

講 師 酒井 羊子さん

(彩華スポーツクラブ ヨガ教室講師)

持ち物 バスタオル1枚

締め切り 7月1日(木)

*動きやすい服装でお越しください

第1回 フォローアップ講習会(協力・両方会員対象)

「みんな違って あたりまえ」

と き 6月29日(火) 10:00～11:30

ところ 四季の森生涯学習センター東館

講 師 西田 由美子さん

(こども未来課 家庭児童相談員)

託 児 あり (10名まで=要予約)

締め切り 6月22日(火)

平日に、ファミリーサポートの会員登録ができない方は、毎月第2土曜日(9時～11時30分)に篠山市社会福祉協議会において登録をすることができます。

ご希望の方は、下記までお問い合わせください。

<申し込み・問い合わせ先>
篠山市ファミリーサポートセンター
TEL 590-1388
担当 林 直美・本田明美

